

H21

薬理学試験問題 (安原)

(この問題用紙は持ち帰ってよい)

[1] 左記のカルボキシルアミンの作用に関する主たる受容体を右の欄から選び、記号を解答欄に書け。

- 問1 心臓の興奮 a. α_1 受容体
問2 細動脈の収縮 a. α_2 受容体
問3 気管支平滑筋の弛緩 c. β_1 受容体
問4 脂肪組織における脂 肪分解の促進 d. β_2 受容体 e. β_3 受容体

[2] 左記の薬物分類にあてはまる薬物を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- 問5 麻薬 a. テンニシタミ
問6 覚醒剤 b. コチン
問7 向精神薬 c. ペンタミ
問8 毒薬 d. ペクロニウム

[3] 左記の酵素を阻害する薬物を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- 問9 シクロオキシゲナーゼ a. プラバスタチン
問10 コリンエステラーゼ b. カプトプリル
問11 HMG-CoA還元酵素 c. アスピリン
問12 アセチルコリン受容体 d. ネオスチグミン

[4] 左記の薬物が使われる代表的な治療目的を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- 問13 A型ボツリヌス毒素 a. 眼瞼痙攣
問14 リトリジン b. 分娩誘発
問15 ノネピル c. 切迫流産
問16 オキシトシン d. 糖尿病
問17 グリベネクラミド e. アルツハイマー型痴呆

[5] 左記の薬物があてはまる薬物分類を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- 問18 ジクロフェナク a. 免疫抑制薬
問19 セボフルラン b. 痛風治療薬
問20 シクロスポリン c. NSAID
問21 バルプロ酸 d. 抗てんかん薬
問22 プロプリノール e. 吸入麻酔薬

[6] 次の文章の () 内に当てはまる最も適当な語句を下欄のa-eから選び、記号を解答欄に書け。
医薬品が世に出るにあたっては事前に (問23) の承認を得るように (問24) で定められている。(問25) は医薬品の製造管理および品質管理の基準であるのに対し、(問26) は臨床試験の基準であり、(問27)

生労働大臣
a. ヘルシネキ宣言 b. 薬事法 c. GCP d. GMP e. 厚
に則り、患者の人権保護を定めている。

[7] 左記の薬物の注意すべき副作用を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- 問28 シクロオスファミド a. 腎障害
問29 タクロリムス b. 咳
問30 アスピリン c. 造血器障害
問31 クロラムフェニコール d. 消化性潰瘍
問32 カプトプリル e. 出血性膀胱炎

[8] 左記の薬物を使用中に摂取を注意すべき食物・嗜好品を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- 問33 シクロスポリン a. 牛乳
問34 ワルファリン b. 酒
問35 テトラサイクリン c. 納豆
問36 トリアゾラム d. グレープフルーツジュース

問37 薬物の効果発現が最も速い投与方法はどれか。

- a. 皮下注射
b. 筋肉内注射
c. 静脈内注射
d. 経口投与
e. 直腸内投与

問38 薬物の消化管吸収について正しいものはどれか。

- a. 弱酸性薬物はpHが低い方が吸収されやすい
b. 分子量が大きい薬物の方が吸収されやすい
c. 水溶性の高い薬物の方が吸収されやすい
d. 食前よりも食後投与の方が吸収されやすい
e. 薬物は小腸から吸収されない

問39 妊婦に対して薬物を投与する時に、胎児の催奇形の絶対過敏期はどれか。

- a. 妊娠16週から分娩まで
b. 妊娠8週から15週
c. 妊娠4週から7週末
d. 受精前から妊娠3週末

問40 癌性疼痛の治療について正しいものはどれか。

- a. 麻薬は使わない
b. 即効性の注射薬を第1選択とする
c. 痛みに応じて、鎮痛薬を段階的に替える
d. 時間は定めず、痛い時に鎮痛薬を使う
e. 鎮痛薬と緩下剤は併用しない

<次頁あり>